

別紙2

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 5 年 7 月 21 日

設置・運営主体	社会福祉法人円明会		
設置主体	社会福祉法人円明会		
経営主体	社会福祉法人円明会		
事業所名 (施設名)	まどか保育園	種別	保育所
所在地	〒 338-0007 埼玉県さいたま市中央区円阿弥7-10-9		
電話	048-855-3331		
FAX	048-855-3331		
Email	pokopon-madoka@ja2.so-net.ne.jp		
URL	http://madoka.carrots.jp		
施設長氏名	山本 覚		
調査対応担当者	山本 覚 (所属、職名：園長)		
利用定員	70名	開設年	平成 15 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念：「園児一人ひとりを大切に」 (よりよい家庭環境を支援するため、施設を利用する方すべてに対し、最善の保育内容とサービス提供することを全職員が誇りとする)</p> <p>基本方針：「心と身体の自立を促す保育」 (自然とのふれあいを大切に、誰にでも優しさや感謝の気持ちを持ち、明るくのびのびとした保育を行う)</p> <p>○心身ともに豊かな子ども ○思いやりのある子ども ○意欲を持つ子ども ○自ら考え行動できる子ども</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	7:00から19:30		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	7	1		3
1歳児	12	12	1		3
2歳児	13	13	1		3
3歳児	13	14	1		1
4歳児	13	15	1		1
5歳児	13	14	1		1
計	70	75	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		20人	
うち	保育士	15人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	2人	その他() 2人
非常勤職員数		9人 (常勤換算 4.2人)	
うち	保育士	4人 (常勤換算	1.6人)
	保健師・看護師	人 (常勤換算	人)
	栄養士・調理員	2人 (常勤換算	1人)
	その他()	3人 (常勤換算	1.6人)
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 3人	非常勤： 1人
	退職	常勤： 2人	非常勤： 2人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		43歳 (42歳)	
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		8.4年 (8.6年)	
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)		443.51 m ²
	児童1人あたり	6.3359 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積		216.75 m ²
	児童1人あたり	3.0964 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年 平成 15年		

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ①クラス懇談会の実施
- ②保育参観・保育参加の実施
- ③アンケートによる利用者からの意見聴取
- ④クマさんポストによる意見聴取

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ①一時預かり保育の実施をとおして近隣の子育て家庭への支援を行う
- ②子育て支援事業の実施をとおして近隣の子育て家庭への支援を行う
- ③経験豊かな保育士が、経験の少ない保育士を丁寧に指導することによって、双方の連携により、より良い保育の構築を目指す

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

_____ 回 （平成 _____ 年度）